



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月30日

上場取引所 東 名

上場会社名 イビデン株式会社

コード番号 4062 URL <http://www.ibiden.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 竹中 裕紀

問合せ先責任者 (役職名) 財務部長

(氏名) 佐野 尚

TEL 0584-81-3111

四半期報告書提出予定日 平成26年11月11日

配当支払開始予定日

平成26年11月17日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	150,561	△0.7	9,372	△14.1	11,996	△6.0	7,316	△14.9
26年3月期第2四半期	151,551	7.5	10,912	78.2	12,764	165.3	8,595	—

(注)包括利益 27年3月期第2四半期 16,470百万円 (△18.8%) 26年3月期第2四半期 20,273百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	52.98	—
26年3月期第2四半期	62.25	62.01

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	499,995	336,592	66.5	2,409.46
26年3月期	462,113	322,562	68.9	2,305.93

(参考)自己資本 27年3月期第2四半期 332,714百万円 26年3月期 318,419百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
27年3月期	—	15.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注2)現時点では期末における配当予想額は未定であります。

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	315,000	1.5	18,000	△23.2	20,000	△29.6	11,000	△37.1	79.66

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期2Q	150,860,557 株	26年3月期	150,860,557 株
27年3月期2Q	12,774,183 株	26年3月期	12,773,301 株
27年3月期2Q	138,086,739 株	26年3月期2Q	138,089,146 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表の四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

【定性的情報・財務諸表等】

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、好調な米国を中心に回復傾向にありますものの、中国や新興国経済の減速懸念に加え地政学リスクなど不透明な状況が続いております。国内経済は、設備投資の増加や雇用環境の改善が進むなか、消費税引き上げに伴い減少している個人消費にも持ち直す動きが見られるなど、全般としては緩やかな回復基調で推移しました。

半導体・電子部品業界におきましては、スマートフォン市場は高い成長率を維持しております。しかし、成長市場が新興国を中心とした中・低価格品に移り、中国メーカーの台頭が鮮明になるなど各企業間の競争が激化しております。また、パソコン市場は企業向け買い替え需要が下支えしておりますものの、依然として前年を下回る水準で推移するなど、当社電子事業を取り巻く環境は、引き続き厳しい状況が続いております。

自動車排気系部品業界におきましては、好調な北米及びアジア市場に加え、欧州市場も持ち直していることから、世界の自動車販売は底堅く推移しました。

このような情勢のもと、当社グループでは成長が続くスマートフォン市場への更なる拡販を目指し、経営資源を集中的に投入しております。また、パソコン用パッケージ基板とスマートフォン・タブレット用薄型・小型基板の事業を統合し、技術の融合とともに生産設備の共用化を進めております。さらに、事業の競争力強化を全社方針に掲げ、独自の改善活動をグローバルに展開し、収益基盤の強化に努めております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,505億61百万円と前年同期に比べ、9億89百万円(0.7%)減少しました。営業利益は93億72百万円と前年同期に比べ15億円40百万円(14.1%)減少し、経常利益は119億96百万円と前年同期に比べ7億68百万円(6.0%)減少しました。また、四半期純利益は73億16百万円と前年同期に比べ12億79百万円(14.9%)減少しました。

セグメントの概況は、次のとおりであります。

電子事業

パッケージ基板は、パソコン市場が前年を下回る水準にあることから厳しい状況が続いておりますが、スマートフォン・タブレット用の新製品立上げが順調に進んだことにより、パソコン用の売上減を補い、パッケージ基板全体では売上増となりました。

マザーボード・プリント配線板は、スマートフォン市場において中国メーカーの台頭が鮮明になるなど急激な変化が進むなか、競合他社との競争激化も重なり、売上減となりました。

以上により、電子事業の売上高は749億28百万円となり、前年同期に比べ1.3%減少しました。同事業の営業利益は、パッケージ基板における事業統合による改善効果は出てきておりますが、イビデンエレクトロニクスマレーシア第2棟立上げ費用を計上したことから、32億30百万円となり、前年同期に比べ35.8%減少しました。

セラミック事業

ディーゼル・パティキュレート・フィルター(DPF)及び触媒担体保持・シール材は、欧州市場が持ち直すなど世界的に自動車販売が堅調に推移していることから、売上増となりました。

特殊炭素製品は、引き続き市場環境が厳しい状況にあるなか、新規顧客拡販に努めたことから、売上は前年並みを確認いたしました。

以上により、セラミック事業の売上高は496億33百万円となり、前年同期に比べ2.8%増加しました。同事業の営業利益は海外生産拠点を中心に原価低減を進めたことから、40億円25百万円となり、前年同期に比べ7.4%増加しました。

建材事業

化粧板関連販売部門は、住宅向けキッチン加工扉及び不燃化粧板の拡販に努めたことにより、売上は前年並みとなりました。

住宅設備機器販売部門は、消費税引上げによる新築需要の減少に加え、太陽光発電システムの販売の減少により、売上減となりました。

以上により、建材事業の売上高は、106億53百万円となり、前年同期に比べ12.5%減少しました。同事業の営業損失は59百万円(前年同期は1億29百万円の営業利益)となりました。

建設事業

法面工事部門は、防災対策関連の公共工事増加により、売上増となりました。

造園工事部門は、大型工事案件が少なく、売上減となりました。

以上により、建設事業の売上高は50億83百万円となり、前年同期に比べ4.1%減少しました。同事業の営業利益は4億65百万円となり、前年同期に比べ32.1%増加しました。

その他事業

情報サービス関連部門は、医療用健康診断システムの拡販に加え、民間向け基幹システムの導入案件の増加により、売上増となりました。

石油製品販売部門は、販売拠点の拡充策が順調に進んでいることに加え、販売単価も上昇していることから、売上増となりました。

以上により、その他事業の売上高は102億62百万円となり、前年同期に比べ4.1%増加しました。同事業の営業利益は3億33百万円となり、前年同期に比べ15.6%増加しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ378億82百万円増加しました。主な増加としては、現金及び預金が98億23百万円、たな卸資産が31億49百万円、投資有価証券が37億65百万円それぞれ増加しております。

負債では短期借入金が143億64百万円、未払金が76億80百万円、未払法人税等が22億91百万円それぞれ増加しております。また純資産は、主に四半期純利益や為替換算調整勘定が増加したことなどにより140億30百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年9月30日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算・・・見積実効税率を利用して税金費用を計算する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

退職給付に関する会計基準等の適用

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用しております。

なお、この変更に伴う影響額はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	77,170	86,994
受取手形及び売掛金	59,152	58,711
有価証券	15,191	15,195
商品及び製品	14,795	13,517
仕掛品	8,374	11,288
原材料及び貯蔵品	15,468	16,981
繰延税金資産	2,578	2,449
その他	10,025	9,760
貸倒引当金	△494	△395
流動資産合計	202,262	214,502
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	85,314	93,043
機械装置及び運搬具(純額)	68,127	80,040
土地	19,114	19,225
リース資産(純額)	2,189	650
建設仮勘定	28,464	33,141
その他(純額)	4,491	5,094
有形固定資産合計	207,702	231,195
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	39,924	43,689
長期貸付金	35	33
繰延税金資産	1,341	1,385
その他	2,766	1,957
貸倒引当金	△393	△414
投資その他の資産合計	43,674	46,651
固定資産合計	259,850	285,493
資産合計	462,113	499,995

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	35,452	34,086
短期借入金	18,161	32,525
1年内償還予定の社債	25,000	-
未払金	14,993	22,673
未払法人税等	1,138	3,430
繰延税金負債	15	13
賞与引当金	3,830	3,693
役員賞与引当金	153	-
設備関係支払手形	1,491	1,424
その他	12,156	13,355
流動負債合計	112,392	111,202
固定負債		
社債	15,000	40,000
長期借入金	3,412	3,301
リース債務	545	489
再評価に係る繰延税金負債	157	79
退職給付に係る負債	502	566
繰延税金負債	5,544	6,213
その他	1,994	1,549
固定負債合計	27,158	52,200
負債合計	139,550	163,402
純資産の部		
株主資本		
資本金	64,152	64,152
資本剰余金	68,354	68,354
利益剰余金	195,459	200,704
自己株式	△37,110	△37,112
株主資本合計	290,855	296,098
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,433	14,548
土地再評価差額金	71	148
為替換算調整勘定	16,059	21,917
その他の包括利益累計額合計	27,564	36,615
新株予約権	353	-
少数株主持分	3,789	3,878
純資産合計	322,562	336,592
負債純資産合計	462,113	499,995

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	151,551	150,561
売上原価	116,028	113,038
売上総利益	35,523	37,523
販売費及び一般管理費	24,611	28,150
営業利益	10,912	9,372
営業外収益		
受取利息	109	189
受取配当金	333	429
為替差益	2,465	2,636
その他	421	474
営業外収益合計	3,329	3,731
営業外費用		
支払利息	174	190
設備賃貸費用	5	5
社債発行費	-	103
休止固定資産減価償却費	694	359
その他	602	447
営業外費用合計	1,477	1,107
経常利益	12,764	11,996
特別利益		
固定資産売却益	54	11
投資有価証券売却益	171	-
新株予約権戻入益	531	353
その他	44	-
特別利益合計	801	364
特別損失		
固定資産除却損	232	313
減損損失	10	386
投資有価証券評価損	2	1
関係会社整理損	457	-
災害による損失	-	144
その他	33	48
特別損失合計	736	894
税金等調整前四半期純利益	12,829	11,466
法人税等	4,141	4,061
少数株主損益調整前四半期純利益	8,688	7,405
少数株主利益	92	89
四半期純利益	8,595	7,316

四半期連結包括利益計算書
第 2 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成26年 4 月 1 日 至 平成26年 9 月 30 日)
少数株主損益調整前四半期純利益	8,688	7,405
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,911	3,129
繰延ヘッジ損益	12	-
土地再評価差額金	-	77
為替換算調整勘定	8,661	5,858
その他の包括利益合計	11,585	9,065
四半期包括利益	20,273	16,470
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	20,177	16,367
少数株主に係る四半期包括利益	95	103

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

特記すべき事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	電子	セラミック	建材	建設	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	75,933	48,280	12,177	5,303	141,694	9,857	151,551
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	74	2	2,651	2,729	1,145	3,874
計	75,933	48,354	12,180	7,954	144,423	11,003	155,426
セグメント利益	5,030	3,746	129	352	9,258	288	9,547

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、合成樹脂加工業、農畜水産物加工業、石油製品販売業、情報サービス等の各種サービス業等を含んでおります。

② 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	9,258
「その他」の区分の利益	288
セグメント間取引消去	37
全社費用及び利益(注)	1,327
四半期連結損益計算書の営業利益	10,912

(注) 全社費用及び利益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び電力利益であります。

③ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

特記すべき事項はありません。

当第2四半期連結累計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日）

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	電子	セラミック	建材	建設	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	74,928	49,633	10,653	5,083	140,299	10,262	150,561
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	26	50	3	2,463	2,543	1,059	3,602
計	74,954	49,684	10,656	7,546	142,842	11,321	154,164
セグメント利益又は 損失(△)	3,230	4,025	△59	465	7,662	333	7,996

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、合成樹脂加工業、農畜水産物加工業、石油製品販売業、情報サービス等の各種サービス業等を含んでおります。

② 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	7,662
「その他」の区分の利益	333
セグメント間取引消去	54
全社費用及び利益(注)	1,322
四半期連結損益計算書の営業利益	9,372

(注) 全社費用及び利益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び電力利益であります。

③ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
特記すべき事項はありません。

(重要な後発事象)

特記すべき事項はありません。